

介護職員等処遇改善について

水明会では、職場環境の改善に取り組んでいます。

1、入職促進に向けた取り組み

- ① 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築
- ② 学生の職場体験の受け入れや地域行事への参加、実務者研修会場の提供など職場魅力度向上の取り組み

2、資質の向上やキャリアアップに向けた支援

- ① 働きながら介護福祉士取得を目指すものに対する、実務者研修受講支援
- ② 喀痰吸引研修や認知症研修、階層別等研修の受講支援
- ③ 資格取得と昇格を連動した人事考課

3、両立支援・多様な働き方の推進

- ① 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、時差出勤等の実施
- ② 有給所得状況を定期的に確認し、年間 50%以上の取得を目指した取り組み
- ③ 毎週木曜日を「定時に帰ろうデー」とし、全職員へ周知

4、腰痛を含む心身の健康管理

- ① ハラスメント担当窓口の設置等相談体制
- ② 短時間勤務労働者等も受信可能な健康診断やストレスチェックの実施
- ③ 事故・トラブルへの対応マニュアル等を整備
- ④ 介護職員や厨房職員等に腰痛ベルトの支給や医師による定期的な腰痛検診

5、生産性向上のための業務改善の取り組み

- ① 厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」にもとづき、業務改善活動（委員会立ち上げ、定期的な会議等）
- ② 5 S 活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の職場環境の整備と、定期的な施設長巡視
- ③ 介護ソフト、情報端末、見守りカメラを導入し、介護の負担軽減や業務の効率化
- ④ 各種委員会を法人全体で共同し情報の共有を図る

6、やりがい、働きがいの熟成

- ① 毎年度当初、全職員を対象とした基本方針等を学ぶ
- ② 各部署で定期的に会議を開催し、職員の気づきを踏まえた業務内容の改善を検討
- ③ 各事業所が、認知症カフェへ参加し地域住民との情報交換や交流を図る